

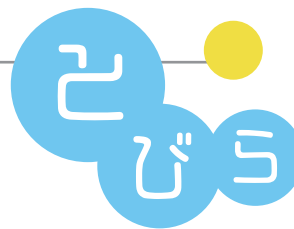
特集《対談》

— 地域おこし協力隊員の声を聞きました —



柏崎市議会だより

ギカイの



No.186 令和3(2021)年12月5日

今回の表紙

地域おこし協力隊の皆さん

市役所やそれぞれの活動場所に集まり、定期的にミーティングを行っています。

(場所 柏崎市高柳町門出)

もくじ

■ 特集《対談 地域おこし協力隊》	P2・3
■ 令和2(2020)年度決算報告	P4～8
■ こんなことが決まりました	P9
■ 常任委員会審査報告	P10～11
■ 一般質問・賛否一覧	P12～16
■ 第五次総合計画後期基本計画における議会の取り組み	P17
■ ギカイのうごき	P18・19
■ 12月定例会議日程 ほか	P20

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/shigikai/>



特集

《対談》

地域おこし協力隊

〈移住経験と定住について話をお聞きしました〉

柏崎での暮らしが気に入っている つないだ縁を大切にしていきたい



柏崎を選んだ理由は？

- 海と山が近い柏崎なら、農業をしながら趣味の釣りも満喫できると思いました。
- 知人が近くにいるし、現地体験で訪れた時に自分に合うと感じたからです。
- 「古いものをアップデートする」という募集内容にひかれて、直感で選びました。
- 体験に来たら、面白い世話人と熱心な担当者がいました。柏崎市のやる気を感じました。

活動して感じたことは？

- 最初は不安も大きくて、落ち込むこともありました。1年目は特に、メンタル的なサポートがあればよかったかなと思います。
- 協力隊という立場ならではの人間関係

の苦労はありましたが、自分が生き生きしていると感じるし、柏崎を選んでよかったです。

- 世話人さんが、活動しやすい雰囲気を作ってくれています。
- 柏崎市は柔軟に対応してくれるので、活動の幅を広げやすいです。

住んでみて、柏崎の印象は？

- 海のイメージが強かったのですが、山の魅力も発見できました。
- コミュニティーの規模がちょうどよくて、人との距離が近いと感じます。
- 自動車は必要ですが、近所に気兼ねなくパーベキューができるような自由さは魅力だと思います。
- 夢を語ると後押ししてくれる人が、いっぱいいます。やりたいことを実現する土台があるのが、柏崎の魅力です。



つばい もとはる
坪井元春さん

岩之入で住民の語らいの場づくりなどに取り組む。
3年目。



こしばやすたか
小柴康隆さん

門出で「かやぶきの里」を
中心に活動。
3年目。



やまだ かおり
山田華緒李さん

旧商店を使った地域内外の
交流の場づくりに取り組む。
2年目。



の の がきしょうた
野々垣翔太さん

矢田宮農組合で農業を
中心に活動。
3年目。

地域おこし
協力隊とは……

市が採用した隊員が地域のさまざまな活動に協力することで、地域を元気にする制度です。現在、市内3地区で4人の隊員が活動しています。任期は3年です。

● 移住しやすいポイントは？

● 楽しく過ごせるローカルな情報があって、「行ってみたい」と思ってもらえることです。柏崎は少し足りないと感じるので、自分も情報発信していきたいです。

● 地方は暮らしにくいという先入観をなくしたら、地方移住のハードルはもっと低くなると思います。

● 知り合いがたくさんいることです。柏崎は、同世代とつながれる機会が意外と多いです。

● 目標にも仲間にもなる移住の先輩が近くにいると心強いです。

● 定住についての考えは？

● まだ漠然としているのですが、協力隊のミッションが任期後の仕事につながると思います。

● 住まいと仕事について、前向きに相談に乗ってくれる人・場所が欲しいです。

● 任期中にできた縁をなくしたくないし、ここでの暮らしが気に入っているので、できれば定住したいです。

● 定住するならば、将来的には、学校など子育ての環境は必要だと思います。

● 市議会に望むことは？

● 議会を意識したことがあまりなかったので、ちょっと思いつきませんが、直接議会と関わったことはないですが、シビアな課題の多い地域で活動しているので、市長や議員に相談してみたらどうかという話が出ることもあります。

市議会も地域おこし協力隊の活動と移住・定住を応援しています。
ありがとうございます。

取材：三宮直人、星野幸彦
阿部 基、若井恵子

令和2(2020)年度決算報告

～全会計を認定しました～



10月8日の本会議において、一般会計および5つの特別会計の決算を認定しました。一般会計決算に対し3人の議員が行った討論については5ページを、予算決算常任委員会（星野正仁委員長、持田繁義副委員長）での審査については6・7ページをご覧ください。

公営企業会計の決算については、9月22日の本会議において2人の議員が賛成の討論を行い、全会一致で認定しました。

詳しくはコチラ



令和2(2020)年度一般会計・特別会計歳入歳出決算額と賛否

区分	歳入(円)	歳出(円)	賛否など*	
一般会計	60,843,877,525	58,677,032,397	賛成21 反対2 欠席1(出産)	
特別会計	国民健康保険事業	8,833,903,418	8,791,159,689	賛成23 反対0 欠席1(出産)
	(事業勘定)	8,506,497,759	8,463,756,723	
	(直営診療施設勘定)	327,405,659	327,402,966	
	後期高齢者医療	1,009,367,619	1,009,267,619	賛成23 反対0 欠席1(出産)
	介護保険	9,363,686,051	9,189,352,733	賛成23 反対0 欠席1(出産)
	土地取得事業	162,301,409	162,301,409	賛成23 反対0 欠席1(出産)
	墓園事業	18,662,853	17,427,497	賛成23 反対0 欠席1(出産)

※ 真貝維義議長は採決に加わりません。



録画映像

私たちはこのような理由で

賛成しました



反対しました

日本共産党柏崎市議員団

反対する第1の理由は、財政調整基金を有効に使うって、新型コロナウイルス感染症対策における柏崎独自の検査拡充と小規模事業者への支援金を求めたが実行しなかったこと。第2は、男女共同参画推進事業に大きな弱点があること。位置付けを強化し、特化した機構と人材配置を求める。第3は、コロナ禍での地域農業対策を指導・支援すべき時期でありながら、柏崎農業再生協議会総会を中止したこと。第4は、使用済核燃料経年累進課税制度を作り、歳入に組み入れたこと。原資は電気料金であり、「福島を終わったこと」にするようなものだ。

反対



持田繁義

柏崎の風

新型コロナウイルス感染症対策や豪雪対応で、通常とは異なる支援策を求められた今決算は、企業や市民へ、より迅速に必要な支援を行うことができたことを高く評価する。人口減少が進む中ではあるが、今後も人材育成に、より一層力を入れていただきたい。市民の声を自分ごととして捉え、現場重視の考えや、何ごとにも確認をする体制づくりに努めていただくことを望む。市長を先頭に職員・市民が一丸となって取り組むことにより、課題解決に結び付けられるものと期待し、賛成とする。

賛成



田邊優香

民友

財政健全化より新型コロナウイルス感染症対策を優先しながらも、国の交付金により財政状況の悪化を免れたことは安堵する。ただし、自主財源の確保と一定程度の財政調整基金の維持は、重要と考える。

人材確保・育成と産業振興に係る各事業においては、現場の実態把握に努めた点を評価する。特に成果を上げた看護師確保の手法は、全庁的な共有を求めたい。職業人として社会を支える人材はもちろん、地域を支える人材の確保・育成にも注力し、人口減少と少子高齢化の同時進行への対応を進めるよう意見を付し、賛成する。

賛成



近藤由香里

総務分科会

■分科会長 阿部 基 ■副分科会長 布施 学
■委員 星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・星野正仁

【主な質疑】

Q 歳入全体について、収納率向上への取り組みと収入未済額の減少、不納欠損額の増加が続いている要因は何か。また、コロナ禍の影響はあったのか。

A 現年度中に納付を促し、年5回、随時、催告書を送付するとともに、年末に差し押さえを予告した。また、給与調査などの滞納整理に努めた。

不納欠損額については、令和2年度に滞納額の大きい法人の欠損があった。

新型コロナウイルス感染症の影響で仕事が減っているとの相談事例については、分納で対応した。

Q ワーク・ライフ・バランス推進事業について、ワーク・ライフ・バランスが進んでいないと思うが、事業の効果は。

A 令和元年度に実施した市民意識調査の結果によれば、まだまだワーク・ライフ・バランスの認知度が低い。

ワーク・ライフ・バランスを定着させるために、ハッピー・パートナー企業の登録数を増やすこと、繰り返してセミナーを開催すること、新潟県のコーディネーター派遣事業の活用に取り組んできた。また、令和2年度は、柏崎市男女共同参画基本計画で男性の育児休業の促進を明確にした。

【主な意見】

- 自主財源の確保が必要である。賃金の動向を踏まえて、市民所得の向上によりまちづくりの魅力につなげてほしい。
- ワーク・ライフ・バランス推進事業は、市の目標が定まっていないのではないかと。

文教厚生分科会

■分科会長 重野正毅 ■副分科会長 白川正志
■委員 笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森 茜・春川敏浩

【主な質疑】

Q 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策としての取り組みやウィズコロナ対策、中止行事のフォローはどうだったか。

A (福祉保健部)
マスクや消毒液などは早い段階で病院に提供できた。病院や福祉施設での感染が広がらなかったことには、市民に感謝している。予防対策は必要だが、過度な受診控えにならないようにすること、心の健康づくりに配慮すること、新しい行動様式に行政としても変わっていくこと、なども必要。

A (子ども未来部)
国の補助金を使って対応してきた。私立保育園12園には一律50万円の補助金を出した。乳幼児の感染防止の第一は、大人が園にウイルスを持ち込まないことで

ある。

A (教育委員会)
学校の休業や大会の中止の代替として青春・熱血プロジェクトや小学生の競技スポーツ体験会を開催した。図書館では安全を確保できるよう除菌機の購入などを進め、公共施設での行事・大会では、安全な事業の運営をサポートした。小学校で発生した感染症のクラスターは反省点。学校ごとにガイドラインを策定し、取り組んだ。

【主な意見】

- 子育て人材の確保をさらに進めてほしい。
- 福祉保健部の人材確保事業、子ども未来部の経済的不安解消など、教育委員会のデジタル化などのコロナ対策は評価する。



委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます

産業建設分科会

■分科会長 山本博文 ■副分科会長 田邊優香
■委員 村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢 均

【主な質疑】

Q 住まい快適リフォーム事業は、応募できなかった人がいたのか。

A 予算に達した時点で締め切り、申請できなかった方はいた。今後も実施していく予定である。

Q 道路除排雪事業の除雪オペレーター育成支援補助金のPR方法は。

A 事前に対象人数の把握に努め、事業所への声掛けもしたが、仕事の都合などにより免許の取得が困難となり想定より対象者が少なかった。

Q 昨冬の除雪の総括、歩道除雪の事業者との連携について。

A 反省点を踏まえて除雪計画を策定する。歩道除雪は事業者からの実績報告を確認し、状況把握に努めたい。

Q 食の地産地消推進計画の進捗状況は。

A 順調である。県の特別栽培農産物認証面積の進捗率は約60%、学校給食の地場産品割合は約47%、食の地産地消推進店登録の進捗率は90%である。

【主な意見】

- 住まい快適リフォーム事業は、防災・減災の観点からも拡充していただきたい。
- 除雪は、人材が不足している中で対応したことは評価できる。通行量だけでなく、全体を見て対応していただきたい。
- 観光・農業などさまざまな分野で、柏崎市を創業しやすいまちにしていきたい。
- 廃炉産業調査研究事業は、研究を継続し、産業化に向けて取り組んでいただきたい。
- 効果のある有害鳥獣対策にしっかり取り組んでいただきたい。



予算決算常任委員会（全体会）での採決の結果、賛成多数で一般会計決算を認定すべきものと決しました。（10月7日 委員会室）

施策・事務事業評価に取り組みました

施策・事務事業評価
(PDF)



令和2(2020)年度一般会計決算



予算決算常任委員会での決算審査において、次の主要施策について評価を行いました。評価結果を市長に提出し、政策実現に向けた翌年度以降の施策・事業の見直しなどを提案しました。

◀左から櫻井市長、真貝議長、柄沢副議長、星野委員長、持田副委員長

総務分科会

評価対象施策※・事務事業

産業の創造性と技術力を高める

次世代エネルギー活用推進事業、次世代エネルギー活用研究事業

評価
B

提案内容(要旨・抜粋)

①地域資源の活用や発掘とともに、地域産業の創造・育成・活性化に結び付け、稼ぐ力を高める必要がある。②地域エネルギー会社を成功させるためには、民間事業者や関係機関との連携が重要である。③市民の理解を得るためには、取り組みの成果や研究成果、進捗を市民に公開する必要がある。④地域エネルギービジョンで掲げる「地域エネルギー導入ロードマップ」の6つのモデルプロジェクトの実現、柏崎市次世代エネルギー研究プロジェクトの「新たな事業」の明確化。

文教厚生分科会

評価対象施策※・事務事業

出合いの喜びを感じる環境を整備する

結婚活動応援事業

提案内容(要旨・抜粋)

①地域少子化対策重点推進交付金の活用。②「ハートマッチにいがた」との連携。③利用者・委託事業者のニーズの把握など。ほか

評価
B

評価対象施策※・事務事業

安心して子育てができる環境を充実させる

ファミリーサポートセンター事業、病児保育事業

提案内容(要旨・抜粋)

①市民への周知、啓発活動の拡充。②世代を超えた市民のニーズ・要望の把握など。③サービス提供会員の確保とスキルアップ。ほか

評価
A

産業建設分科会

評価対象施策※・事務事業

産業の創造性と技術力を高める

工業振興事業、人材育成支援事業

提案内容(要旨・抜粋)

①大学生の進路選択の候補に市内企業を加えさせる有効な手段として今後も事業を有効活用し、DXの推進による人材不足への対応、工業のみならずIT企業や他の産業の経営基盤の強化支援拡大が必要。②一堂に集まることが難しい時代に即したオンラインなどの活用。③ものづくり産業の技術力向上や人材確保、人材育成、企業支援、企業誘致など、新たな産業の創出のためにも両事業の取り組みは継続が必要。

評価
B

※評価対象施策は、第五次総合計画・前期基本計画の分野別施策から選択しました。

評価指数

A	施策の実現に近づいているので、このまま推進する
B	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要
C	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要
D	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務

こんなことが 決まりました

8月随時会議(2日・19日)・9月定例会議 議案審議

Pick up

1

地域や職場でマイナンバーカードの申請ができるようになります

◎戸籍住民基本台帳費 493万 3000円

市の職員がコミュニティセンターや事業所に出向いて、マイナンバーカードの申請を受け付ける取り組みが始まります。



Pick up

2

市内の病児保育室が2か所に増えました

◎病児保育事業 201万 1000円

国立病院機構新潟病院の「ムーミンハウス」に加えて、病気治療中のお子さんを預けることができる病児保育室「ぴっころ」が、柏崎総合医療センターに開設されました。



Pick up

3

柏崎フロンティアパークで操業を始めた企業に補助金が交付されます

◎企業立地事業 3777万5000円

7月から操業を始めた企業に、補助金が交付されます。柏崎フロンティアパークは、すでに全区画が完売しており、7社が操業しています。

議決した議案はコチラ



令和3(2021)年9月定例会議常任委員会での審査について 報告します

総務常任委員会

■委員長 阿部 基 ■副委員長 布施 学
■委員 星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・
星野正仁

1件の議案と1件の請願を審査しました。質疑はありませんでした。

・字の変更について（高田中部地区）

事業の概要

新潟県が事業主体の経営体育成基盤整備事業に伴い、高田中部地区の字が変更されるもの。

文教厚生常任委員会

■委員長 重野正毅 ■副委員長 白川正志
■委員 笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森 茜・春川敏浩

付託議案などはありませんでした。

産業建設常任委員会

■委員長 山本博文 ■副委員長 田邊優香
■委員 村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢 均

1件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

・市道路線の認定について

事業の概要

地元町内会長から申請があった1路線（北園町）と、開発行為に伴う2路線（大字茨目）の認定。

予算決算常任委員会

■委員長 星野正仁 ■副委員長 持田繁義
※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

一般会計補正予算（第14・15号）など、10件の議案について審査しました。

総務分科会および文教厚生分科会の報告を受けて、公的病院運営支援事業に関して一般会計補正予算第14号・第15号に対する附帯決議の提案を決めました。

【附帯決議】

- 1 今回の事案の原因究明を図り、内部統制など市当局における再発防止策を講じ、二度とこのような誤りが起きないように是正措置を取ること。
- 2 公的病院運営支援として、早急に新たな支援策を講ずること。

理 由

一刻も早く市民の信頼回復を図るとともに、市民の安心な暮らしにつながる医療提供体制の確保に積極的に取り組むよう強く求めるため。

附帯決議案
(PDF)



「附帯決議」とは…

審議の対象である事件（議案など）の可決・認定に当たって、議案を提出した市長に対して議会の意思（意見や要望）を表明する場合に、本会議において附帯決議を可決します。

この決議によって、市長は議会の意思を尊重する政治的・道義的な責務を負うこととなります。



委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます

総務分科会

一般会計補正予算（第14号）について

・常備消防一般管理費（320万7000円）

事業の概要

消防職員に被服（消耗品）を支給する経費。

主な質疑

Q 被服の内容・枚数・支給対象などの詳細は。

A 救急隊員110人分の感染防止ジャケット、パンツであり、不織布材質で洗浄することにより長期間の使用に耐えることができる。

・災害対策事業（351万3000円）

事業の概要

新型コロナウイルス感染症対策として、災害時の備蓄品などを購入する費用。

主な質疑

Q 消耗品の内容・数などは。

A 段ボールパーティションなどを1避難所当たり10セット事前に配備する。

文教厚生分科会

一般会計補正予算（第14号・第15号）について

・公的病院運営支援事業

（2660万5000円）

審査の概要

公的病院へ国からの特別交付税を財源とする運営支援を補正予算14号で事業立てしたが、手続きの不備により特別交付税の活用が見込めなくなったことから、補正予算15号でその事業分と同額の減額措置を行うこととなった。

主な質疑

Q 公的病院への代替支援策の可能性は。

A どういう形で支援していくかこれから検討し、早急に対応したい。

Q 今回の不備の検証は。

A 特別交付税に関する認識不足とチェック不足があった。

産業建設分科会

一般会計補正予算（第14号）について

・小型除雪機購入費補助金

（1000万円）

事業の概要

町内会などに小型除雪機購入費用を助成する。申請が増えたことによる補正。

主な質疑

Q 要望数が増えたが除雪機の製造は冬までに間に合うのか。

A 例年より約3倍多い要望があった。冬までに間に合う見込み。

・柏崎産米ブランド化推進事業

（106万8000円）

事業の概要

米山プリンセスの認知度向上と販売促進のさらなる推進のための、学校給食での利用などに係る経費。

主な質疑

Q 認証米の動向や学校給食での利用の目的は。

A 市場動向は堅調で完売予定。学校給食での利用は、地産地消と児童生徒の農業への関心の向上が目的。